



先生方一同 於：いずみホール前9/1

有難う！ 五周年記念発表会



パートリーダー

バス 三好 哲郎

本番二日前から台風接近、当日朝の暗雲と開演直前の大雨、パートリーダーとしての不安へ立ち位置や音のまとまり等、そして体調と

不吉な兆候の中、あの素晴らしい舞台に立ち、歌い始めた途端、不安は全て消えていました。

全神経を集中して声を出せ、観客の顔を見る余裕すら出てハートモニと響きを楽しみながら歌えたことに大満足しています。

団員の皆さんも落ち着いて歌われていたのがよくわかり、これが大成の要因だと思っています。

二度と経験できないかもしれない、超一流ホールでの発表会を堪能出来て本当に感謝しています。

企画して下さった西本総合プロデューサーには心よりお礼申し上げます。

高校時代一緒に歌っていた友人二人が聴きにきてくれた、四度目にして初めて◎をくれました。今回の結果はこの感想がすべてだと素直に信じています。

この五年三ヶ月、ハモる楽しみと音楽を語り合う楽しみとでやってきて、直前のパートリーダーとしても音のまとまりを考えただけでは合唱には調和とバランスが重要、即ち団員の皆さんの協調と努力が大切で、和みが必要だと思っています。

五周年を機に原点に戻り、合唱の基本や合唱団の進め方を全員で考えてみてはどうでしょう。

さあ、新しい気持ちでいろんな合唱を楽しもうではありませんか！

素敵なドレスで 一部を熱唱！

衣装担当リーダー
ソプラノ 松田 和子

二月の第九演奏会が終わるや否や、三月からいずみホール（於いて）五周年記念コンサート準備がスタートした。

女性の方から、ドレスでも作りたい・・・との声が上がりに、アンケートに基づき作ることに決定。世話人の一人である私は、ドレスのまとめ役を仰せ付かった。色は？デザインは？値段は？とドレス係りの皆さんと相談し探した。

西本先生に相談しながらデザインと色が決まった。次は少しでも安価にしてもらえる所を、と、ドレス係りの皆さんの知り合いに掛け合ってもらい、百着以上でとの条件で、一着一万五百円と決定した。

皆さんに了解して貰えるだろうかと、との心配も有ったが・・・

四月中かかってドレスの数を掌握、欠席の人へは直接お電話もさせて頂き、最終百二着となりほっとした。五月中旬、見本のドレスが届き、練習中も一人々試着

してもらい、全員のサイズをまとめ注文へ。

次は六月末から七月にかけてドレス代の集金が始まり、毎回の練習日にはメンバーで手分けして当たった。

待ちに待ったドレスが七月末出来上り、一人々に手際よく渡せる様下準備をする。

八月には金・土の練習の都度ドレスを渡し、着て頂き丈を合わせました。

八月十二日、最後の一人にドレスを渡す事が出来た時は、本当に良かったと、肩の荷が下りる思いでした。

九月四日日本番！皆さん良く似合う・・・素敵・・・

こんなお仕事、そうざらにはありません。これも衣装部全員のチームワークで成しえたお陰かと喜んでおります。良い経験と思い出を有難う御座いました。

プログラム

お気に召しましたか？

プログラム製作委員長
アルト 森井 律子

★「五周年記念コンサートは全て団員の手で作る。」と、西村事務局長の言葉。それではと、以前プログラムを作った経験のある娘を

当てに、私はプログラム委員に手を上げ、それから何度か委員会を開き、アイデアを集めました。

★五年間の歴史みたいな載せたら。★写真はどんな感じ？★堅苦しくない方がよいよネ★表紙はレクイエムの感じかな。★宗教的？古典的？★パイプオルガンってどう。等々。

先ずは表紙から。娘に相談しパイプオルガンの資料を作ってもらったが、何か説得力が無く・・・

そんな折『いずみホール』の下見に行くとの事。願っても無いチャンス！ホールのPオルガン載せられたらベスト。当日著作権のこともあるの、担当の方に撮影と掲載の許可を尋ねると、何の問題も無いとのこと。これでプログラムの顔が出来る。

娘もレイアウトの資料として、大正橋の第九の音譜を撮ったり、つつじを撮ったりと動いていた。（裏表紙の花は大正通りのつつじで、集合写真の背景の花も音符も、写真イラストにしたものです）

パソコンは、全く未知の世界の私。デザインからレイアウトまで、全て娘に任せっきし。唯一意見を言えたのは、書体に関してだけでした。

プログラム製作中は親子ではなく、相棒でした。と言いつつも、私が部下でしたが、ともあれ、皆さんが気に入って下さったのなら幸いです。